

◆2019年 中学入試算数 講評【浅野】

神奈川県男子御三家の一角、浅野中学。

2年前、思考力が問われる素晴らしい問題を2題出題し、中学受験界を賑わせました。2年ぶりに、今年も大胆な出題が目立ちました。

大問2は、四角数の数列の和がテーマとなっていて、
大問3は、二次関数の最大最小がテーマとなっています。
どちらも高校範囲の内容ですが、小学生が解けるようにうまくアレンジしています。

なかでも、大問2は、筆者が小学生の時に、
着想した方法がそのまま出題されていて、
当時の躍動が蘇るようで、感慨深いです。

この方法は、
例えば $1 \times 100 + 2 \times 99 + \dots + 100 \times 1$
の計算にも応用できるので、興味のある方は考えてみてください。

同校は、基本的な問題も大問1で出題されています。
単なるパターン学習のみではなく、初めて見た問題に対して、
今までの知識を駆使して取り組む力をつけてきてほしい、といったメッセージを大問2以降
で発信しながら、
全ての受験生のこれまでの取り組みをなるべく正當に評価できるよう、出題者が腐心して問題
を作成されている様子が窺えます。